

塩見岳山行報告

【山行日】 2014年 9月 2日(火)～3日(水)

【集 合】 岩舟支所P AM 2:00

【費 用】 マイカー1台 : 18,000円

【メンバー】 CL:鈴木、 大西、 関、 渡辺

9月2日(火) 晴れ 鳥倉登山口から三伏峠・本谷山を経由し塩見小屋へ

岩舟支所P2:00＝越路P6:25/6:45～鳥倉登山口7:30
～塩川分岐 9:30～三伏峠小屋 10:20/10:30～

三伏山下 11:00/11:30～本谷山 12:20～塩見新道分岐 14:00～塩見小屋 14:20



8月21日から3日間で登る計画だったが、天気が悪く延期して今回の山行になった。Iさんも参加予定していたが、前日体調を崩し参加を断念した。天気予報も日替わりで変わり、CLの我輩を大いに悩ませてくれたが、最後は良い天気になり胸をなでおろした。参加者が4名になったので、経費節約のためO嬢のノートで行くことにしたが、高速道の登り坂はスピードが落ちるため、予定よりも時間が掛かる。予定よりも20分遅れて、越路の駐車場に到着した。



平日なので駐車場は空いていたが、すでに十数台は止めてある。トイレを済ませ、ストレッチを入念にして出発する。鳥倉登山口までは、40分の林道歩き。

女性たちは登山口でまたトイレ、よう出るのう。登山口で山行計画書を出して、登山道へ入る。カラマツの植林帯を登って行く。豊口山の山腹を巻くように登る道を、ゆるやかに登って行く。しばらく登りザレ場を過ぎると、豊口山間のコルに出る。

北側斜面のトラバースになり、岩場の道と栈道を越え

ると水場に着く。その後も細い木を合わせた、滑りやすい栈道をいくつか渡り、ザレたルンゼを過ぎると道も安定し塩川ルートと合流する。

塩川ルートは、現在通行禁止の札が掛けられていた。ジグザグに登って行くと、北側が開けた見晴の良い場所に出て、ここからは仙丈岳の展望が素晴らしい。やがて道が平らになり、三伏峠小屋に着いた。小屋のトイレを借りて大休止。果物や菓子を食べ、エネルギーを補充する。塩見小屋へ人数変更のTELをした。小屋からテント場の脇を通り、分岐を左に進む。とここで突然アクシデントが起きた。



今まで順調に登っていた、今回の主人公の徳ちゃんがツル姫に。O嬢に馬油を塗って、マッサージをしてもらおう。「今日は山頂まで登れないので、明日山頂に登るよう変更して。」との要望があり、今日の行程はゆっくり塩見小屋までに変更する。

様子を見ながら歩き出し、すぐに展望の良い三伏山の頂上に出る。本日最高のビューポイントで、



塩見岳が眼前に迫り北岳や仙丈岳まで良く見える。天気が良いので、少し降りた平らな日陰の場所で昼食を食べ足を休ませる。マルちゃん正麺のミソラーメンにネギをたっぷり入れとても美味しかった。徳ちゃんの足も回復し、鞍部までゆっくり下る。鞍部から30分登り返すと、本谷山の頂上に出る。山頂はハイマツに囲まれて、眺望はあまり得られない。本谷山から樹林帯を下り、水平の道を行くと権右衛門沢の源頭部に出て沢を渡り、荒れた道を登ると

塩見新道と合流する。合流点で休憩を取り「小屋までもうすぐだね。」と話してカメラが無いことに気が付いた。本谷山頂でカメラを木に掛けたのは覚えているが、それを取ったかどうかは覚えていない。エ〜本谷山まで戻るの〜、2時間以上かかるよ。でも買ったばかりのカメラを失くすわけにはゆかない。荷物を置いて、サブザックにレインウエアと水だけ入れ戻った。

駆けおりに権右衛門沢を渡り、さらに降りて行くと本谷山の手前にカメラが置いてあった。

本谷山を下って、O嬢が水を飲みたいと小休止した場所だった。良かった、本谷山の頂上ではさらに1時間近くかかってしまう。喜びで足取りも軽く塩見新道合流点まで駆け上る。往復1時間のアルバイトだが、喜びがまさり疲れは感じなかった。ザックを背負って塩見小屋へ向かう。さすがに最後の岩場の急登りはきつかったが、意気揚々と登り切った。小屋でトイレの使い方や場所などの説明を受けていると、皆さんが来て「エ〜もう着いたの?」とビックリしていた。夕食は4:30なので時間が無い。荷物を置いて、寝床を寝られるようにし、おつまみを持って外のベンチへ。天気が良いので塩見岳がはっきり見え素晴らしい。明日登る塩見岳を見ながらのお酒は格別に旨かった。

塩見小屋の食事は、奥さん手作りの料理でとても美味しかった。朝食も朝4:30に食べられるとの事なので、朝食を食べてから出発することを皆に伝え、明日に備えて7時前に就寝した。

9月3日(水) 晴れ 塩見岳に登頂し、往路を戻り登山口まで下山。

塩見小屋 5:05~塩見岳 6:15/6:30~塩見小屋 7:30/7:40~

本谷山 9:40~三伏峠小屋 10:30/10:45~

**鳥倉登山口 12:35~越路 P13:10=駒ヶ岳 S/A14:20/15:00
=岩舟支所 P18:30**

4時前に起きて外に出ると、満天の星空で天気は良さそうだ。早速出発の準備をする。我輩のサブザックに二人のレインウエアと水を入れ、二人は空身で登れるようにする。

「朝食が出来ました。」と案内があり、食堂に向かう。朝食

も奥さん手作りでとても美味しい。全員ご飯をお代わりにして、Sさんは味噌汁もお代わりにしていた。

Sさんの海苔以外は全員完食。しっかり食べて、元気に出発した。

塩見岳へ登るのは、我々がトップのようである。小屋から出てすぐに左の小尾根を進み、少し下ると天狗岩が眼前に迫ってくる。ここで後から登って来た夫婦に追い越される。急登を頑張ると、天狗岩の下部に着きトラバースする。小さなコルに下り、ここから塩見岳本峰に取りつく。ここからが核心部の岩場の急登で、ペンキマークを外さないよう慎重に登る。勾配が緩やかになり、やがて三角





点がある塩見岳西峰に着く。すぐ先に 3,052mの最高峰東峰が見え、尾根伝いに東峰へ登り徳ちゃん98座目の百名山登頂。最高の天気恵まれ、富士山も祝福してくれる。先客の夫婦は99座目の百名山、98座目の徳ちゃんと互いに健闘を称え合い固い握手。お互いに記念写真を撮りあい、梨を食べながらしばし百名山談義に花が咲く。昨日はツル姫で塩見岳登頂は危ぶまれたが、無事に登頂出来喜びも大きかったようだ。

全員でバンザイ三唱し下山する。岩場を登り以上に慎重に下る。無事に塩見小屋まで下り、ザックに荷物を詰替え、小屋の御主人にお礼を言って出発する。

帰りは皆さん登頂の喜びで足取りも軽く、快調に下って行く。天気も上々で、小屋の主人の話では昨日今日はこの夏一番の天気だと言っていた。ルンルン気分で話も弾み、本谷山の登りも難なく登り、三伏峠小屋に着く。小屋でトイレを済ませ、昼食は下山してから遅くなるので、パンやまんじゅうなどを食べエネルギーを補充する。三伏峠小屋からは、大きな登りは無くほとんど下りになるので、さらに足取りは快調になる。無事に越路の駐車場に着き、帰路についた。登頂が二日目に変更となったので、温泉は寄らず駒ヶ岳 S/A で昼食を食べ、岩舟支所に帰ることにした。

